



苦工同窓会 関東六華会

会報 第17号 2020.4.20

発行責任者

石堂 鉄雄

編集委員

櫻井 武春 首藤 真史

大澤 哲司 瀬谷 政夫

”母校の創立 100 周年 (2023) に 向けてさらなる絆を”

苦工同窓会支部「関東六華会」会長 石堂 鉄雄

関東六華会会員の皆様におかれましては御健勝のこととお喜び申し上げます。

同窓会支部活動に対し、日頃、温かいご支援、ご協力を賜わり心から厚く感謝申し上げます。

さて、平成 25 年度に会長に就任し、早 7 年が過ぎようとしております。その間、新たな企画を通じ一人でも多くの会員の皆様と共に「母校を想い、さらなる絆を築こう」と、幹事の皆さんと会員減少対策に努力して参りましたが、思うような成果が得られないのが現状です。同対策として毎年行われている卒業生への「同窓会入会式」は、今年中止（コロナ対策）になりましたが、「苦工同窓会支部関東六華会」の案内を配布し、関東に就職する皆さんへの入会促進を図りました。昨年度は予定の活動すべて無事に開催できました。ひとえに皆様方のご支援のため、厚く感謝申し上げます。

活動状況は、年 4 回の定例の幹事会、四役会の実施、6 月に行われた総会・懇親会は会員と来賓を含めて 68 名の皆様に御出席して頂き、アトラクションでは出席者による初のカラオケで大いに盛り上げました。恒例の抽選会では、本部の田中会長から栗山の小林酒造の「苦工」ネーム入りのお酒、内田副会長からは北広島のお酒を頂き、抽選会の特別賞（景品）に活用させて頂き皆さんに大変喜んで貰いました。

恒例行事となった“散策の会”では、「早稲田・神楽坂歴史散策」と題し、11 月に櫻井さん（通信 s 38）の案内で 16 人の会員が、徳川家光、堀部安兵衛、杉田玄白、由比正雪等に係わるお寺や神社、石碑等を巡り江戸時代の様子を知ることができました。また、夏目漱石生誕の地や泉鏡花・北原白秋の旧居跡巡り、花柳界発祥の地といわれる神楽坂へ、ここは田中角栄さんと深い縁があったところで、歴史とわくわく感を感じる興味津々の楽しい散策でした。

次に、11 月後半に新企画「関東六華会親睦ゴルフコンペ」を 4 組 15 人の参加で南総ヒルズ C.C で開催しました。前泊で懇親会（前夜祭）を行い、美味しい手料理と旨い酒で会話が弾み、大いに盛り上げました。翌日のゴルフは晴天に恵まれ楽しくプレーすることが出来ました。

12 月には「忘年会」を開催し、22 人の有志が東京駅近くの居酒屋に集まり、大いに盛り上げました。

今年度の予定は、ご案内の通り 6 月 20 日（土）に総会・懇親会、時期未定ですが東京都内・近郊の散策の会、11 月 9 日（月）第 2 回関東六華会ゴルフコンペ、11 月末には忘年会を予定しています。各イベントは HP でご案内しますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

関東六華会は「母校の誇りと同窓会の絆」を信条として「明るく楽しく、人が集まり、助け合いのできる同窓会」を目指して活動をして参りますので、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

最後に、関東六華会は「母校創立 100 周年に向けてさらなる絆」をスローガンに、盛大に 100 周年行事が開催され更なる発展を願い、学校、後輩達に何か記念になるものを寄贈したいと考えています。皆様には趣旨をご理解いただき、ご寄付等のご協力を宜しくお願い申し上げます。



”本部田中会長 令和元年秋の叙勲受章”

同窓会本部 田中稔会長は、令和元年秋の叙勲において「旭日双光章」を受章いたしました。たいへん喜ばしく大きな誇りであり、関東六華会会員一同、心よりお祝い申し上げます。

田中会長は卒業以来、測量設計業務に携わり、北海道測量設計業協会役員、更に全国測量設計業協会副会長として、卓越した指導力と行動力により、業界発展と地域振興のため、多大な貢献が認められたものです。



関東六華会 総会・懇親会に参加して
苦工同窓会本部副会長 内田 忠吉

私は、札幌支部長と本部副会長の重職をお引き受けしております、内田忠吉（s43 電気）と申します。

日頃、仕事や北広島商工会の理事をしている関係で毎年の様に上京しておりますが、関東六華会 総会・懇親会の日程とは折り合わず、今回初めて参加させて頂きました。

手際よい総会進行の拝聴、懇親会のプロジェクター活用の演出等、大変参考になりました。また、懇親会でのカラオケタイムではご指名を受けて拙い一曲を披露させて頂きお礼と感謝を申し上げます。



関東六華会では、苦工在校生がスポーツ活動などの全国大会で上京した時は、大勢が応援に駆けつけてくれたり、親身にサポートを頂いていると伺っています。この度の総会・懇親会にご招待頂いたことと併せてお礼を申し上げます。

篠原新幹事長の計らいで、43会（s43年卒同期会）古希祝いの席を設けて頂き 20数名もの皆様と懇談させて頂き、昔懐かしい話に大変盛上の事が出来、楽しいひと時を過ごすことができました。

苦工の伝統である深い絆が半世紀過ぎた今も続いている事、諸先輩の方々に感謝とお礼を申し上げます。

最後に、創立 100 周年に向けご協力お力添えをお願い申し上げ、お礼とさせていただきます。

令和元年度 関東六華会 総会・懇親会 （6月15日：銀座ライオン7丁目店6階）

活動状況報告

本部来賓

来賓



菅原幹事(司会) 伊藤監査役 吉田副会長 佐々木幹事長 石堂会長



田中会長 内田副会長 佐々木苦小牧市東京事務所長

資料を見入る会員の皆さん

来賓の皆様

受付



大竹 支部長 中村 理事 堀川さん 遠藤会長 苦高専 樽前会 関東支部 苦西校 関東樽前会



三浦幹事 三橋会計 福沢副幹事長

初参加の皆様

“乾杯”で懇親会スタート

カオで熱唱“田中さん” 抽選会で“当たったー”



斉藤さん 久保さん 菅原さん 川上顧問



苦工応援歌 フー！フー！

楽しい懇親会、最後は肩を組んで“校歌斉唱”

中締め

来年も再会を！



篠原新幹事長



坂本顧問

土木科・建築科・電子/通信科・工化科・電気科・本部・来賓



上段左から 橋本 雅 (電子 s43:幹事) 櫻井 (通信 s38:幹事) 佐々木 孝 (土 s39) 藤谷 (土 s39) 田中 (建 s43) 田口 (電子 s43) 金本 (電子 s45: 監査役) 南部 (建 s41: 幹事) 橋本 拓 (電子 s43) 坪井 (電子 s55) 藤井 (電子 s43)

中段左から 瀬高 (工化 h08) 堀川 苦西校関東樽前会 松崎 (土 s43: 幹事) 会津 (建 s43) 上田 (土 s39) 早坂 (土 s35) 翠 (建 s43) 吉田 博 (建 s39) 山崎 (工化 s35) 三橋 (工化 s41:会計) 工藤 (電 s31)

下段左から 松原 (土 s43) 篠原 (土 s43: 幹事) 川上(工化 s28) 佐々木 苦小牧市東京事務所所長 内田本部副会長(電 s43) 田中本部部长 (土 s33) 石堂会長 (土 s39) 遠藤 苦西校関東樽前会 会長 大竹 苦高専樽前会関東支部支部長 中村 苦高専樽前会関東支部 理事



左から 稲見 (工化 s31) 大槻 (工化 s31)

電気科・機械科



上段左から 久保田 (電 s59) 吉田 秀 (電 s39: 副会長) 鈴木 (機 s43) 三浦 (機 s60: 幹事) ニッ屋 (機 s42) 村田 (電 s40) 瀬谷 (機 s50: 幹事) 蒲原 (電 s38) 山際 (電 s41) 福澤 (機 s45:副幹事長) 伊藤 (電 s38: 監査役) 松平 (機 s43) 及川 (電 s36) 菅原 (機 s45: 幹事) 小野寺 (電 s45:幹事)

中段左から 馬淵 (電 s39) 斉藤 (電 s42) 大澤 (電 s43: 幹事) 山本 (電 s43) 野本 (機 s43: 幹事) 神馬 (電 s37) 館 (機 s33) 大日向 (電 s35) 中村 (電 s35) 櫻田 (電 s34) 首藤 (電 s43: 幹事)

下段左から 岡山 (機 s35) 竹中 (機 s43) 佐々木 明 (機 s45: 幹事長) 内田本部副会長(電 s43) 田中本部部长 (土 s33) 佐々木 苦小牧市東京事務所所長 坂本 (電 s31) 駒米 (電 s36) 武田 (電 s35) 工藤 (電 s31)

“ふるさと 苦工 便り”

主幹教諭 板坂浩毅 (h10 機)

日頃から「関東六華会」の皆様には、本校の教育活動に対しまして、ご支援・ご協力をいただき、大変感謝申し上げます。在校生への声援が、各種大会や成果発表の場で活躍する大きな力となっております。重ねて感謝申し上げます。

令和元年度は、本校にとって躍動の年となりました。硬式野球部は、第58回春季北海道高等学校野球大会室蘭支部予選において、23年ぶり14度目の優勝を勝ち取りました。全道大会では、全道各地の強豪校に次々と勝利し、決勝まで駒を進めました。

胆振地区代表による、同地区対決となった決勝では、連戦の疲れを見せずに戦いきり、見事準優勝と健闘しました。多くの声援を受け、選手たちはとても輝いておりました。

アイスホッケー部は、第72回北海道高等学校アイスホッケー競技選手権大会において、全道第3位となり、全国大会（インターハイ）に出場しました。

ソフトテニス部、バドミントン部、陸上競技部、柔道部、剣道部、バレーボール部、テニス部、ハンドボール部、放送局、新聞局、写真部においても、全道大会に出場いたしました。

例年、関東六華会の皆様に応援に駆けつけていただいておりますが、ジャパンマイコンカーラリー全国大会は、今年度より東京から会場が変更となりました。今年度は、福岡県北九州市を舞台に本校からは4名の代表者が出場しました。北海道高等学校ロボット競技大会では、6位に入賞し、新潟県で行われた全国大会に出場するなど、多くの部活動において好成績を収めた一年でした。

令和5年、本校は創立百周年を迎えます。伝統と歴史を刻んできた卒業生数は、28,000名を超え、全国各地で活躍しております。令和2年度より、同窓

会を中心に百周年記念事業協賛会を発足させ、準備に取りかかります。同窓生の皆様方には、今後とも本校教育活動にご支援・ご協力を賜るとともに、百周年記念事業に向けてお力添えいただきますようお願い申し上げます。

六華会 親睦ゴルフコンペ開催（第1回）

11月25日（月）関東六華会の、懇親ゴルフ大会を千葉県にある南総ヒルズCCにて、会員15名の参加者で開催しました。まだ、台風19号の影響が残るコースコンディションでしたが、前夜祭の二日酔いにもめげず、老体鞭打って楽しんで来ました。

優勝者は地元千葉県富津市で、ゴルフ場まで車で僅か15分の所に住んでいるため、前夜祭には参加せず体調管理（二日酔い逃れ）に努め、HDCPも味方にした松原悟さんがみごと優勝賞品の米沢牛をゲットしました。（準優勝：篠原、3位：ニッ屋さん）

今回のコンペは、六華会の正式行事にしてはどうかの試みで、幹事の福澤さんと菅原さんが企画してくれました。その結果大勢の参加と賛同を頂き、年間行事として継続して行くことになりました。

来年も同じ時期に第2回目を開催しますので、大勢の参加をお待ちしています。（篠原）



後列：橋本(s43 電子)、福澤(s45 機)、ニッ屋(s42 機)、金本(s45 電子)、三橋(s41 工)、南部(s41 建)、伊藤(s38 電)、菅原(s45 機)、篠原(s43 土)、松平(s43 機) 前列：中脇(s38 通)、石堂(s39 土)、松原(s43 土)、櫻井(s38 通)、松崎(s43 土)

日々異なる20種類以上の
おばんざい大皿料理をご用意!

大人の隠れ家!

ふるさとの味 楽 ほたる

〒103-0014

東京都中央区日本橋蠣殻町2-5-4

パークハイツ日本橋蠣殻町2F

地下鉄半蔵門線水天宮前5番出口から1分

TEL: 03-5652-5988

定休日：日曜日／連休になる祭日

営業時間：昼 11:00～14:00

夜 17:00～23:30



散策「早稲田・神楽坂歴史散策」に参加して

s43 電 大澤哲司

令和元年11月3日(日)、散策には快適な気温の中を参加者16名で実施されました。都電荒川線にて、集合場所である「面影橋」へ。まずは神田川に架かる「面影橋」の由来とそのもとに、太田道灌の逸話にある、かの有名な「七重八重花は咲けども山吹の(実)みのひとつだに無きぞ悲しき」の和歌に出てくる「山吹の里」の碑があります。

次に「甘泉園」、家康の側室、高田殿ゆかりの地で幕府の弓馬調練場「高田馬場」跡へ。忠臣蔵で有名な堀部安兵衛が決闘助太刀を行った事でも有名となった場所です。講談などでは、「安兵衛、助太刀のため八丁堀長屋から走るに走り、途中の酒屋に飛び込んで一升酒をあおって高田の馬場へ、次から次と18人切りを・・・」とあるが、馬場跡に立つ史跡碑の史実は興味あるところです。そしてその助太刀の際に気合付けの力酒を飲んだ酒屋(小倉屋)が今も実在していました。

続いて、徳川家の祈願所「穴八幡宮」に立ち寄る。丁度、七五三の時期で着飾った親子連れで賑わう八幡宮に参拝して、「夏目漱石生誕の地」へと向かう。「漱石公園」にある記念館で漱石の生い立ちや交友関係の展示を閲覧。続いて、徳川三代将軍家光が「租心尼」の為に建てた「済松寺」へ。「租心尼」とは俗名「おなあ」、色々と不幸を乗り越え、紆余曲折の後、大奥春日局の補佐役になり、家光にも厚い信頼を得て、のちに出家「租心尼」となった方だそうです。寺院内には規模は小さくなったそうですが木々が茂る立派な庭園があり、ここが都内であることを忘れ

させる様でした。その後は旧牛込城址にある「光照寺」と巡りました。「光照寺」ではこの日に、文化財現地特別公開が行われていて、「地蔵坂」の由来である快慶作の「木造地蔵菩薩坐像」等、新宿区の指定有形文化財を拝観出来ました。

午前の散策を終え、観光客で賑わう神楽坂通りを経て「鳥茶屋」にて名物「鳥御膳」の昼食。昼食後は、江戸城外堀跡の「牛込見附跡」へ、今も一部残る石垣には建設を担当した阿波徳島藩「松平阿波守」と刻まれた石が保存されていました。

次にこの地が神楽坂の地名の由来である「神楽河岸」からの荷揚げ職人の名に由来する「軽子坂」、そこから風情のある石畳と黒塀の横丁を

「ピンコロ探し」をしながら散策し、花柳界発祥の地と言われている「寺内公園」へ。また故田中角栄も神楽坂には並々ならぬ深い縁があったそうです。そして原稿用紙発祥の店「相馬屋」を見つつ、神楽坂周辺がにぎやかな街になった元と言われる「毘沙門天善国寺」へ、「善国寺」の阿吽の像は虎の石像で、虎のものは初めて見ました。「毘沙門天」にて本日の「早稲田・神楽坂の歴史探訪」を終えました。

江戸の庶民の暮らしや歴史、明治の文豪等、広範囲にわたり色々な所を見ながら散策し、楽しい一日となりました。そして、今回も恒例となったお楽しみ、神楽坂通りにある能登の酒と肴の店で締めの懇親会を行い、喉の渇きと足の疲れを癒しました。今回も櫻井さんには、資料の作成から現地まで詳しくガイドをして頂き、本当に有難うございました。



善国寺にて 後列：松平、南部、三橋、伊藤、大澤、松崎 中列：櫻井、石堂、佐々木、田中、野本、小野寺 前列：福澤、菅原、阿部、篠原

SANKO

管・消防施設・土木・建築工事

有限会社 三興エンジニアリング

代表取締役 鈴木 正夫 (機械43年卒)

〒373-0035 群馬県太田市藤久良町48-49

TEL: 0276-31-3499 E-mail: sankoeng035@ad.wakwak.com

各方面で“活躍する同窓生”の紹介 h08 工化卒 瀬高伸郎さんです

瀬高伸郎さんは、3年連続で当関東六華会のCMスポンサーとしてご支援を頂いています。

苦工を卒業後、舞台俳優を目指して専門学校に進学、2年間舞台演技を勉強した後、小劇団を旗揚げて舞台公演等をしていましたが夢半ばで挫折し、WEB広告会社に営業マンとして入社して、13年間サラリーマン生活をしていましたが、平成16年3月に一念発起してHP制作、WEB広告、動画制作、クレジット決済等を行うIT会社「Heart in LINE」を起業し、更に昨年からは、横浜市関内に下記広告の「ルクリア」と「ほの香」の2軒の snacks を開店する等、幅広く事業展開して成功を収めています。

特技として極真会空手で日々体を鍛えており、その関係から、格闘家（K-1ファイターやプロボクサー）との付き合いも多く、角海老宝石ボクシングジムの中川麦茶（WBAアジアイーストSバンタム級王者）と中川抹茶（2015全日本バンタム級新人王・2017日本バンタム級初代ユース王者）兄弟選手のスポンサーとして彼らを支えている心優しい男です。

その様に積極性があり、人を纏めることが出来る魅力的な彼には、今後とも苦工同窓生のために尽力願いたいと思っています。

最後に会員の皆さまにお願いですが、横浜近郊にお越しの際には、前述の「ルクリア」や「ほの香」にお立ち寄り頂きたいことと、ボクシングでは若い中川兄弟の応援をよろしくお願いします。

（篠原）



左から：瀬高さんと中川兄弟

苦工同期会便り（詳細：HP参照）

s45 機械卒クラス会開催

令和2年2月24日(月)、S45年卒 機械3Bの5名が伊豆高原の某会社の保養所に集まりました。3年前にも佐々木君のお世話で、この保養所にて賑やかなクラス会を開催しましたが、翌朝に呑んだ酒瓶の量を見た職員が、呆れかえっていたそうです。

今回もまた同じ結果でした。15時半に到着して夕食までの2時間、僅かなツマミでビール8本、日本酒4合、ワイン1本と、保養所は原価販売なので飲み放題でした。

温泉風呂もそこそこに、18時半から夕食会です。鍋や刺身、名物金目鯛に舌鼓、勿論ここでもビールや日本酒が切れることはなく、2時間の夕食会で何を食べたか思い出せないほどでした。

続いて予約のカラオケルームへ、皆が思い思いのリクエストで自慢の喉を披露してくれました。当然ここでもウイスキー1本、焼酎1本と呑みっ放しでした。

翌朝、保養所前で記念写真を撮りましたが、みんな目がうつろ、しかも三脚が斜めになっています。（背後霊：いつまでも若くないぞ！）

今回、参加してくれた野尻君が、関東六華会会員に入会してくれる？ことになりました。（菅原）



左から：福澤、菅原、野尻、横井、佐々木明

スナック 新生
ルクリア

Owner : 瀬高 伸郎 (工化h08年卒)

Address : 〒231-0015
神奈川県横浜市中区尾上町5-70
ザ・バレル源平ビル4F

Tel : 045-201-9515

苦工同期会便り (詳細:HP参照)

s43会 同期会開催

令和元年6月15日(土)に実施された関東六華会総会・懇親会終了後、「43会(s43卒科合同)」の古希祝を兼ねて同期会を開催しました。

会場は「さくら水産銀座三丁目店」銀座のど真ん中にもかかわらず、一人当たり1500円会費のライブに有り難い価格でした。当日は雨模様の肌寒い中、総会・懇親会に出席して頂いた、内田本部副会長(電気43年卒)も合流してくれました。しかも内田君からは「古希祝」出席者全員に、お土産と本人歌唱CDまで頂き、大変恐縮でした。



後列: 松原(土)、橋本拓(子)、鈴木(機)、大澤(電)、山本(電)、田口(子)、田中(建)、会津(建)、松平(機)、翠(建) 前列: 橋本(子)、竹中(機)、篠原(土)、内田(電:本部副会長)、野本(機)、首藤(電)、藤井(子)、松崎(土) 前列中央: 田中本部長(土33)、佐々木苦小牧東京事務所所長も一緒にパチリ

皆さんは、最近の事を良く覚えていなくても、苦工時代の事はよく覚えており、気持ちが50年前に逆戻り、古希祝いは大いに盛り上がり、賑やかに懇談しました。
山本吉博(電気43卒)

電気科43年卒 古希祝い記念クラス会開催

令和元年9月19日、札幌定山溪温泉の「湯元小金湯」で電気科43年卒「古希祝い記念クラス会」を開催しました。

地元北海道17名、関東5名、大阪1名、富山1名で計24名と大勢が参加し、この中には本部副会長(兼



後列: 井口、宇良田、蹴揚、熊倉、高八掛、松本 中列: 首藤、柄沢、末廣、内田、梅村、仙北、後藤、土居、前列: 酒井、大竹永井、(大澤)、塩見、(西岡)、石原、新井山、榎原、千引

札幌支部長)の内田君と関東六華会の5名が含まれています。

我がクラス会はA及びBクラス合同で開催し昨年で20回連続開催を続けております。これは、まとめ役である榎原君、内田君他数名の尽力により長続きしており、感謝申し上げたい。(首藤)

s36卒電気の勇士 喜寿を迎え元気にクラス会

11月14日11時に、昭和通り日本橋ウスケボーに喜寿を迎えた10名が集まりました。まず、この1年に亡くなった同級生2名に黙とうし、献杯をしました。

みんなの話は健康に集中。クラス会常連の元関東六華会幹事の北館君が体調不良で欠席、足の不調で田澤君も欠席、寂しかったです。

膝の手術から復帰した鳥井君から「歩くのも大変だったけど、今は快調そのもの」と報告がありました。腰の不調をおして滝野君は遅く行動しており、この日も車でやって来ました。

西村君から趣味(玄人肌)の絵画の話。佐藤君、及川君、土田君からの健康のため

に努力しているとの近況報告。井齊君からもスポーツジムで汗を流し、体力づくりをしている元気な様子のお話がありました。

いつも黒子でクラス会を盛り上げてくれている松田君は、いまだIT業界の現役スーパーマンです。みんな元気に食べて、飲んで、喋っての楽しい3時間でした。



左から: 佐藤、及川、滝野、西村、駒米、井齊、松田
= どうゆう訳か土田さんが写ってないミステリーが =

最後に「来年も健康で元気に集まろうー」と元気に別れました。そして有志は次の店へ・・・

年が明け北館君、田沢君共にすっかり体調が回復今年のクラス会が楽しみです。そして北海道のクラス会が開催できればとワクワクしています。

(駒米)

s39 土クラス会（きつつき会） 苦小牧で開催

令和元年9月20日、苦小牧のグランドホテルニュー王子にてクラス会が開催され、19名（道外3名）が参加して楽しい時間を過ごしました。

今回も担任だった中原先生（通称きつつき）が出席して下さり、先生の米寿の祝いを兼ねて盛大



後列：松田、小原、大宮、林田、佐々木、吉岡、中村、前田、上松、松村、幅田、中道、藤野 前列：齋藤、佐々木、石堂、中原先生、上田、山田

に盛り上がりました。クラス会は先生の米寿の記念を最後にしようとの話もありましたが、先生からの希望もあり卒寿までは開催しようと言うことで、2年延長になりました。

次回は札幌開催となり、楽しみが延長しました。
(石堂)

苦工同窓会支部「関東六華会」

令和2年度

総会・懇親会開催のご案内

開催日時 6月20日(土)

午前11時30分～
(受付11:00～)開催会場 銀座ライオン七丁目店6階
銀座クラシックホール

“母校を想い、さらなる絆を”

<http://rokkakai.web.fc2.com/>

《編集後記》 穏やかで平和な元号を祈願して始まった令和でしたが、経験したことのない天災やコロナウイルス感染など、天は先に試練を与えたのでしょうか？ ならばこの試練を皆さんの知恵と勇気、そして忍耐で乗り越えましょう。

3年後は、“ふるさと苦工”が創立100周年になります。いまある私たちは、苦工時代に教わり育てられた「苦工ブランド」意識と絆が礎となって成長を支えてくれました。創立100周年を皆さんでお祝いしましょう。
(広報担当)



Refrigeration transport & Marine container transportation

KTR 株式会社 国際低温流通

基本理念

社会と社会を結ぶ重要な役割を担っている物流業者としての自覚を新たに、
現場に対する徹底した教育により質の高いサービスを提供し、
お客様とともに繁栄すること



保有車両群



同窓生の皆さん管理者 & ドライバーを募集しています。
お気軽にお問い合わせください。電話：045-773-5751

クレームの
ゼロ化の
推進無事故
の推進お客様
第一主義
の徹底重点
目標社内教育
の徹底

KTRの樹

株式会社 国際低温流通 (設立:平成12年2月1日)

代表取締役 日高 広秋 (昭和59年機械科卒)

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町13-10

TEL 045-773-5751 FAX 045-773-5741

営業所:本社・横浜・千葉

一般貨物自動車運送事業:関自振第662号

ISO9001認証取得

保有車両:大型冷凍車他90台

社員総数:60名

引先:大手食品会社他多数